

山口県立山口高等学校

学校概要

【学校教育目標】道義心の高揚（徳育）、実力の養成（知育）、健康の増進（体育）
【設置学科】普通科、理数科



研究テーマ

実技におけるICTを活用した深い学びの実現に向けて～保健体育科の授業をとおして～

授業展開

《教科・科目》保健体育・体育 《学年》1年
《単元》球技・バレーボール

【本時のねらい】

- ・選択した課題について、前時の技能レベルよりも向上を図ることができる。（技能）
- ・技能向上につながる自己または他者の体の動かし方に気づき、改善に向けて試行錯誤することができる。（思考・判断）

	生徒の学習活動	評価及び指導上の留意点
導入	1 挨拶、点呼、準備体操、山高サーキット 2 前時の学習内容の振り返り 本時の学習内容の確認 3 技能の練習場所の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・身だしなみを整えさせる。 ・生徒に発言させる。 ・視覚的支援のために、ホワイトボードを活用する。
展開	4 課題と練習方法の検討 (1)あらかじめ決めていたグループで集まる。 (2)前時に撮った互いの動画を確認し、技能向上に向けて意識するポイントを話し合う。 5 課題解決のための練習 <ul style="list-style-type: none"> ・技術別にグループに分かれて練習する。 ・タブレットの動画撮影機能を活用しながら試行錯誤を繰り返す。 6 技能レベルの測定 <ul style="list-style-type: none"> ・測定結果をタブレットのエクセルシートに入力する。 ・測定後、ワークシートに感想を記入する。 	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自己または他者の体の動かし方について述べているか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・意識するポイントが明確になるよう、1つまたは2つに絞らせるように声をかける。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">改善に向けて繰り返し試行錯誤ができていますか。</div> <ul style="list-style-type: none"> ・練習方法は、体育指導書『Active Sports 2020』を参考にさせる。 ・安全性確保のため、使用するボールの管理を徹底させる。 ・見本の生徒、体の使い方の変化が著しい生徒の動画を共有させる。 <div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">技能レベルが向上したか。</div>
まとめ	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習の振り返り ・次時の内容の確認 ・片付け、挨拶 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分と他人の変化を発表するように促す。 ・身だしなみを整えさせる。

「主体的・対話的で深い学び」の視点

技能向上のポイントについて、相互に協力しながら探究していく。

自分の視点（主観的）と他人の視点（客観的）からの意見を交換することにより、対話を深める。

効果的な練習方法について、グループ内で話し合いながら模索させる。

ブルートゥース機能^{*}を活用し、動画を共有することで、生徒自身が新たな視点を発見する支援とする。

良いイメージをもたせることで意欲の向上につなげ、主体的な活動を促す。

発表者が取り上げた生徒を次に発表させることで、双方向の意見交換にする。

*ブルートゥース機能とは、写真、動画など、さまざまなデータの共有を簡単に行える機能です。

授業の様子

前時の映像確認



映像があると、具体的かつ主体的に振り返るようになった！

メンバーの目標も一緒に考えることにより、対話や新たな気づきが増える！

意見交換



自身の変化を視認できると、授業に対するモチベーションアップにもつながる！

撮影→確認→改善のサイクルが構築され、グループ内で主体的な試行錯誤が行われる！



サーブの撮影



アンダーハンドパスの撮影

評価について(スパイクの場合)

評価を生徒に事前に示すことで、生徒は、より高い評価が得られるよう主体的にスパイクのフォームの改善に取り組んでいる様子が見られた。

アタックライン			球出し位置 スパイクを打つコート
① 3点	④ 3点	⑦ 3点	
② 2点	⑤ 1点	⑧ 1点	
③ 2点	⑥ 2点	⑨ 1点	レフトから打つ場合

バレーボール技能レベル測定方法

◇スパイク(ステージ側コート)

- ①狙うところを宣言し、スパイクを打つ。(レフトからライトのどちらかから打つ)
- ②下手投げてトスのボールを上げてもらう。 ③一人3回試技を行う。

<評価方法>

- (A) ネットよりも高い位置でボールが手に当たり、コート内にボールが入った 2点
- (B) ネットよりも低い位置でボールが手に当たり、コート内にボールが入った 1点
- (C) スパイクがコート内に入らなかった 0点
- (D) 落ちた場所の得点 1~3点

実践研究の成果

- ◆ 日頃の授業に比べ、生徒が主体的に発言する機会や論理的に考える場面が増えた。
- ◆ 動画を共有することで、説明に具体性が生まれた。また、映像により生徒への指導や褒めたい部分を伝えやすくなった。
- ◆ 体の動かし方について、視覚による学習効果の高さが実感できた。

生徒の感想



- ◆ 自分が運動する姿を見ることはあまりないので、新鮮だった。
- ◆ 自分の頭の中のイメージと動画の姿が全く違った。
- ◆ 動画で見ると、何を改善していけばよいか明確になった。